

平成28年度

帯広市文化賞
帯広市文化奨励賞
帯広市文化活動功労賞

平成28年11月3日

帯広市教育委員会

帯広市文化賞



うらしま ひさし
浦島 久 (63歳)

《略歴》

昭和52年 英語学校「イングリッシュハウス・ジョイ」開校
昭和55年 英文雑誌「Northern Lights」創刊(年1回発行)
昭和60年 北海道青少年科学文化振興賞 受賞
平成2年 北海道国際文化交流奨励賞 受賞
平成3年 帯広市文化奨励賞 受賞
平成5年 国際ソロプチミスト財団千嘉代子賞 受賞
平成8年～ JICA 研修員オリエンテーション 講師
平成14年～ ジョイ・イングリッシュ・アカデミー 学院長
平成17年～ 帯広大谷短期大学 非常勤講師
平成21年～ 小樽商科大学 特認教授
平成25年～ 帯広コア専門学校 特任講師
平成27年～ 北海道教育大学岩見沢校 非常勤講師

《受賞理由》

氏は、若くから英語教育の普及と啓蒙活動に取り組み、本市の国際色豊かな人材の育成に大きく貢献してこられました。

英語学習者に対する学習法の提案はもとより、多くの英語学習書を上梓し、英語は生涯学習であるという意識を浸透させるべく、講演会やセミナー、勉強会などを企画、運営し、英語の学習機会を提供するなど、精力的な活動を続けております。

年齢を問わず幅広い市民の英語力の向上に尽力するほか、英語教育の推進を通して異文化交流の振興を図るなど、情熱的で真摯な活動は、英語学習者の生活及び文化にも大きな影響を与えました。

このような氏の長年にわたる英語教育を通じた国際文化交流活動は、地域文化の向上発展に大きく寄与するものであることから、帯広市文化賞を贈り顕彰するものです。

帯広市文化奨励賞



とばり よしひこ
戸張 良彦 (60歳)

《略歴》

昭和54年 日本大学芸術学部写真学科卒業。帯広市に移住。
昭和57年 個展「黒テント」
昭和60年～ 公益社団法人 日本写真家協会 会員
平成8年 STUDIO VALOS 設立
平成10年 個展「戸張良彦写真展 風景の覚醒」
平成16年 個展「戸張良彦写真展 白と黒ノ覚醒図鑑」
平成20年 個展「戸張良彦写真展 白と黒ノ覚醒図鑑 無限大の原風景」
平成22年 個展「戸張良彦写真展 十勝 rera 図鑑」
平成22年～平成24年 NPO 法人 北海道を発信する写真家ネットワーク撮りおろし展
平成25年 「道東アートファイル 2013 in the LIGHT/in the SHADOW」
北海道立帯広美術館
平成26年 「思考するアート展コトバノカタチ」北海道立帯広美術館

《受賞理由》

氏は、帯広・十勝の景色や四季など自然に焦点をあてた写真を制作し、道内外において個展を開催するなど意欲的な活動を続けてこられました。

また、その作風は、十勝の風景をとらえながらも、氏独自の視点で切り取った新たな表情を写し出し、多くの人々に感動を与えています。

さらには、近年は北海道立帯広美術館が主催する企画展において作品が展示・紹介されるなど、高い評価を得ております。

このような氏の真摯な写真芸術活動は、地域文化の向上発展に寄与するとともに、今後の活動も大きく期待できるものであることから、帯広市文化奨励賞を贈り顕彰するものです。

帯広市文化活動功労賞



ちだ けいこ

千田 慶子 (80歳)

《略歴》

昭和50年～	帯広市民劇場運営委員会 委員
昭和60年	北海道立帯広美術館誘致活動 第1弾
昭和60年～平成5年	帯広市民劇場運営委員会 副委員長
昭和62年	北海道立帯広美術館誘致活動 第2弾
昭和62年～平成17年	帯広交響楽団 理事
平成元年	第1回おびひろ薪能
平成9年	第1回帯広市民オペラ「カルメン」を成功させる会
平成10年～平成28年	帯広市民オペラの会設立・会長
平成14年	第2回帯広市民オペラ「魔笛」
平成18年～	帯広交響楽団 副理事長
平成18年	第3回帯広市民オペラ「椿姫」
平成23年	第4回帯広市民オペラ「トゥーランドット」
平成25年	第2回おびひろ薪能
平成27年	第5回帯広市民オペラ「こうもり」

《受賞理由》

氏は、自らの様々な文化活動の取り組みはもとより、多くの文化活動に対する支援を積極的に行ってこられました。

昭和50年より帯広市民劇場運営委員会委員として、帯広交響楽団の設立や北海道立帯広美術館の誘致活動で中心的な役割を担うほか、平成9年 第1回帯広市民オペラ開催後、帯広市民オペラの会を設立し会長に就任、多くの関係者の支援を仰ぎながら、帯広市民オペラを第5回まで開催したことは、本市の文化振興発展に多大な功績を残すものです。

このような氏の長年にわたるひたむきな文化を支援する活動は、地域文化の向上推進に大きく貢献するものであることから、帯広市文化活動功労賞を贈り顕彰するものです。

帯広市文化活動功労賞



ふじやま ひろむ

藤山 広武 (78歳)

《略歴》

昭和45年	「十勝平野の内陸に分布する古砂丘について」(第I報) (第四紀研究 共編)
昭和47年	「十勝平野の内陸に分布する古砂丘について」(第II報) (第四紀研究 共編)
昭和58年	「十勝の自然を歩く」(十勝の自然史研究会 共編)
昭和63年～	帯広百年記念館 郷土学習バス見学会 講師
平成7年～	十勝の自然史研究会 代表
平成9年～平成22年	帯広畜産大学 非常勤講師(理科教育法)
平成17年～	帯広百年記念館 地質講座 講師
平成24年	「帯広市南の森西で発見された周氷河現象」 (帯広百年記念館紀要 第30号、藤山他)
平成25年	「十勝のジオサイト」(十勝の自然史研究会 編)

《受賞理由》

氏は、北海道帯広三条高等学校で地学担当として教鞭を執る傍ら、昭和57年 帯広百年記念館開館準備の支援をはじめ、郷土学習バス見学会や地質講座など多くの企画を運営し、その講師を務めてこられました。

平成7年からは十勝の自然史研究会代表を務め、十勝平野の成り立ちなどに関する研究の成果を「十勝の自然を歩く」「十勝のジオサイト」など一般向け啓蒙書に著したほか、帯広百年記念館の展示・講座の支援を行うなど、多くの市民が地質学や自然史に親しみ、興味関心を高める活動を続け、地域の教育活動の発展に大きく寄与してこられました。

このような氏の長年にわたるひたむきな地質学を通じた活動は、地域文化の向上推進に大きく貢献するものであることから、帯広市文化活動功労賞を贈り顕彰するものです。